

あおぞら

2015 vol.164 12月

医療法人社団七仁会 田園調布中央病院

広報誌

特集

白内障



氏名 岩田 充弘
役職 眼科部長

専門領域 白内障及び
スポーツ眼外傷

TOPICS レントゲンとは何ですか？

第30回 公開医療講座のご案内

診療科目

内科 (一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)
外科 (一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)
整形外科 (一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)
眼科 (一般・白内障・網膜剥離・緑内障)
泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来・乳腺外科
形成外科・脳神経外科
予防接種(肺炎球菌・インフルエンザ・MR・麻疹・風疹・
破傷風・おたふく風邪・肝炎)※対象 15歳以上
ウエルネス外来(要予約)※自由診療

受付時間

【午前】8:00~12:00 【午後】8:00~16:30

診療開始

【午前】9:00~ 【午後】14:00~

◆診療科により受付・診察時間が異なる場合がございます。詳細につきましてはお電話、受付までお問い合わせ下さい。

面会時間

11:00~20:00

(面会時間は他の患者さまにご迷惑のかからないようお守り下さい。)

医療法人社団七仁会田園調布中央病院

〒145-0071 東京都大田区田園調布 2-43-1 TEL:03(3721)7121

発行:田園調布中央病院 広報委員会

創刊:2002.5.1



私、白内障になっていますか？



白内障とは、白髪やしわと同様に、年齢とともに人の水晶体も劣化していくものなので50才以上の方であれば大なり小なり、白内障は始まっています。

白内障とは経齡的な水晶体の変化で、水晶体が黄ばんで固くなっていく病気です。白内障というので目が白くなっていくものだと思われる方もいらっしゃるとは思いますが、白っぽく水晶体が濁っていくタイプの白内障もありますが、大部分は水晶体が黄ばんでいるタイプです。



症状として視力低下が一番にあげられますが、かすみ、まぶしさなどが訴えとしてあります。最近、夜、車の運転をしていると対向車のライトがまぶしくて、運転しづらくなったとか、日の光が二重、三重に見えるという訴えで受診される方も多くみられます。

治療としては点眼薬を使用する事により、経過観察をしても良いのですが、残念ながら点眼薬で治るものではないので、症状が強い方はやはり第一選択は手術となります。



レントゲンって何か知っていますか？

元をたどれば、骨を撮る装置や体が透ける技術の名称ではなく、実は人の名前なのです。

私の名前は

「ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン！」

1895年、偶然「X線(レントゲン線)」を発見したことがきっかけです。陰極線(電子が真空中を飛んでいるもの)の性質について研究中のことです。陰極線の発生装置に、うっかり紙のカバーをつけたまま、実験をしてしまいました。普通なら、実験失敗というところですが、私は、そばにあった蛍光物質の塗ってある紙が光っていることに気づきました。何かカバーを通り抜け、蛍光物質を光らせているのです。そして、「何かわからない線」という意味を込め「X」の文字を使い、仮の名前として「X線」と名付けました。その年、私は論文の中の一節で『放電管と蛍光板の間に手を入れると手の影がごく薄く見える中に手の骨の影がそれより黒く見える。』と発表しました。透過性の高いX線の発見はただちにX線写真として医学に応用されたため、この功績に対し1901年最初のノーベル物理学賞をゲットしました。



X線は、知っている人も多いと思いますが、放射線の一種です。X線管(X線の発生源)から出たX線があまり反射・吸収されずに体を通り抜け、体の向こうにあるフィルムを感光させることができます。ですので、胸のX線写真では骨や肺が透けて見えるのです。なお、X線も多少は体で吸収、散乱され、その吸収、散乱の程度が骨や肺などで違うために、写真の濃度差として表すことができ、この辺の微調整も診療放射線技師(レントゲン技師)において専門的に行なわれています。X線写真を撮るためには、多少吸収されるくらいがよいのですが、この吸収が放射線の被曝(ひばく)ということになります。医療用で用いられるX線の大半は微々たるもので、あまり心配はいりません。

19世紀末のレントゲン博士による発見から、まだ120年程度ですが、その技術は目を見張るような進歩を遂げ、写真やビデオがアナログからデジタルに変わったように、X線もデジタル化が進み、画像の条件を簡単に変更ことができ、保管の手間やスペースが省けるなど、非常に便利になっています。このため、現在、フィルムを現像せず、パソコンの画面でX線写真を見て診断がなされるようになりました。

12月の公開講座は『内視鏡検査』

胃腸病の早期発見に威力を発揮する内視鏡検査ですが、「怖い」「痛い」「苦しい」というイメージがあって、敬遠する方も多いようです。

現在はどのような方法で内視鏡検査を行っているのか、直接話が聞けるこの機会に参加してみませんか。

うがい・手洗いで 風邪予防!



TMG Toda
Medical Group

第30回 田園調布中央病院 地域医療公開講座

内視鏡検査ってどうやってるの?

～安心して下さい! 苦しくないですよ～

平成27年12月22日(火)
10:00 ~ 11:00

参加費無料
定員 20名

講師
田園調布中央病院
消化器外科医師 富永 幸治
内視鏡技師 池宮城 薫



会場
野村證券 田園調布支店 ラウンジ
〒145-0071 東京都大田区田園調布2-62-3 TEL. 03-5483-2011 (代表)

※「メゾンカイザー東急スクエアガーデンサイト店」さんの隣に
田園調布支店直通のエレベーターがございますのでご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ
☎ 03-3721-7121 (代表)
田園調布中央病院 総務課 中井
電話受付時間: 平日 9:00 ~ 16:30
土曜日 9:00 ~ 12:00



※当日撮影した写真は、当施設ホームページを通じて掲載しますのであらかじめご了承ください

お申し込み・お問い合わせ

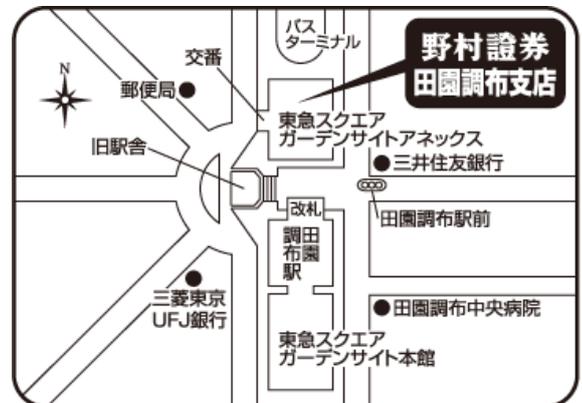
☎03-3721-7121 (代表)

田園調布中央病院 総務課 中井

電話受付時間: 平日 9:00~16:30

土曜日 9:00~12:00

※当日撮影した写真は、当施設ホームページを通じて
掲載いたしますので、あらかじめご了承ください。



インフルエンザワクチン接種のご案内

料金は4,320円(税込み)です。また、65歳以上で居住地の自治体発行の補助付予診票を使用の場合2,500円(税込み)となります。

混雑が予想されますので事前予約も行ってあります。

インフルエンザは手洗い、うがいが大切です。

詳細につきましてはお気軽にお問合せください。

※当院では高校生以上のみ実施となります。



受付